

令和 7年度予算見積調書

課室名：医療整備課
 担当名：総務・医療企画担当、医務担当
 内線：3535 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
S116	電子処方箋活用・普及促進事業（病院等）			一般会計	衛生費	医薬費	医務費	電子処方箋活用・普及促進事業費（病院等）		
事業期間	令和 6年度～	根拠法令	なし			針路	03 介護・医療体制の充実	SDGsゴール	3	
						分野施策	0303 地域医療体制の充実	SDGsターゲット	3-8	
1 事業概要 国の医療DX工程表で概ね全ての医療機関・薬局での導入が示されている電子処方箋については、導入が進んでいない。県においても電子処方箋の活用を含めた医療DXを進めるため、対応医療機関・薬局を一定程度確保した上で課題や実務上のメリットを整理し、他の医療機関・薬局への展開を図る必要がある。 そこで、導入済みの医療機関・薬局に助成金を支給し、当該施設にはセミナー開催や県民向けの広報等の協力を得ることにより、電子処方箋の活用・普及を促進し、ひいては医療DXの進展につなげていく。 電子処方箋活用・普及促進事業（病院等） 66,843千円				5 事業説明 (1) 事業内容 病院等電子処方箋の活用・普及促進事業 66,843千円 病院等に対し、電子処方箋導入に係る経費を助成 (2) 事業計画 ア 令和7年3月31日までに電子処方箋を導入し、支払基金より医療情報化支援基金（電子処方箋）の交付決定を受けた病院等に対し、助成金を支給する。 <対象施設数> (ア) 病院 50 (イ) 医科診療所 184 イ 電子処方箋の普及促進に向けて下記の取組を行う。 (ア) 補助施設に電子処方箋普及への広報に協力いただく (3) 事業効果 【アウトプット】 県内医療機関の電子処方箋導入補助数 病院：50、医科診療所：184 【アウトカム】 患者が自らの薬剤情報を一元的に管理でき、健康増進につながる。 処方情報を踏まえた診察や重複投薬等の防止により、医療の質が向上する。						
2 事業主体及び負担区分 (国2/3、県1/3)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円 × 0.2人 = 1,900千円										
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比	
		国庫支出金								
決定額	66,843	44,562						22,281	△138,457	
前年額	205,300	136,866						68,434		

事業内訳書

事業名	電子処方箋活用・普及促進事業（病院等）		
単位事業名	電子処方箋活用・普及促進事業（病院等）	予算額	66,843千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 医薬費補助金	44,562	△92,304	電子処方箋活用・普及促進事業費補助金 補助率 2/3
一般財源	22,281	△43,980	
合計	66,843	△136,284	

○歳出

（単位：千円）

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	28	△97	書類送付代
負担金、補助及び交付金	66,815	△136,187	電子処方箋活用・普及促進事業補助金
合計	66,843	△136,284	